

学校新聞

つなぐ

神奈川県立相模原養護学校

〒252-0336 神奈川県相模原市南区当麻814

Tel 042-778-0331 FAX 042-778-4957

web <http://www.sagamihara-sh.pen-kanagawa.ed.jp>

『コミュニケーション力を養う』

分教室長 松岡民子

分教室では学校生活において、自立と社会参加を目標にさまざまな学習に取り組んでいます。その中で、人との関わりを築いていくためにコミュニケーションの力を養うことを大切に考えています。

今回の「つなぐ」では、分教室ならではの環境で行っている取り組みについてご紹介します。

10月発行の記事に掲載した橋本高校文化祭参加では、来場者の方々に分教室のクレープ・カフェの販売チラシを配る経験をしました。慣れた様子で手渡しし、はにかみながら笑顔で配ったり、緊張のため声をかけることに時間がかかったり、チラシを受け取ってくれた後、質問を受けて困っていたりといった様子が見られました。言葉をかけるタイミングや声の大きさ、言葉の選び方等を学ぶと共に、人とやりとりする喜びや緊張感を10枚のちらしが教えてくれました。

11月には文化芸術体験として、「クラウン」の方からその演技や表現方法を教えていただく機会を得ました。「クラウン」とは道化師の総称で、古くから行われている大衆芸能の一つです。マジックをしたり、曲芸をしたりといったイメージがあるのですが、本質はまわりを巻き込んでコミュニケーションをとりながら楽しくする存在なのだそうです。全体での体験では、いくつかの演技・技法を習ったあと、学年を超えた生徒同士でペアになり、台本を考えて練習し、発表も行いました。ペアごとに表現の仕方が異なり、意外性に笑い合いながら、多様なコミュニケーションの姿を見ることができました。

『わかりやすい』ということ ~駐車場で考えた



運営管理グループ

及川悦子

朝はスクールバスの到着と登校の様子を前庭で、午後は放デイや保護者の方のお迎えで下校の様子を校舎裏手の駐車場で見守っています。スクールバスの運転手さん介助員さんはもとより、送迎されている保護者や、放課後等デイサービス事業所の方のお顔がわかって挨拶やお話をする機会も増えてきました。

駐車場の利用にあたってはルールを守っていただき安全に送迎が行われています。先日、矢印が塗りなおされ、一方通行であることがわかりやすくなりました。引き続きご協力よろしくお願いいたします。

特別支援学校では「視覚支援」が有効な手段として多く使われます。特別なことのようにですが、実は私たちの日常にあふれています。たとえば、駅やバスの車内には、路線ごとに色分けされた路線図。スーパーではどの列に何が置かれているかの表示や、あいているレジの番号の点灯や並び方の矢印。銀行のATMでは手順にしたがって画面表示が変わります。普段使っている道路の交通標識も言ってみれば見てわかるための「視覚支援（情報）」です。視覚から情報を得ることが難しい方には音声案内なども整いつつあります。

さまざまなことを学ぶには、何を伝えられているか「わかる」ということが第一歩。同時にコミュニケーションの第一歩でもあります。子どもたちが何をどうすればいいか（自分がすること≒求められていること）、を「わかった」と思える伝え方を工夫していきたいと思えます。

